

地区行動指針：「理念と実践 ～Think Next～」 クラブスローガン：「良いクラブ、魅力あるクラブ、参加してみたいくなるクラブ」

国際ロータリー第 2790 地区
第 3 分区 A
千葉西ロータリークラブ
WEEKLY COMMUNICATION

創立	1976年1月20日	承認	1976年2月25日
会長	大森 薫	幹事	野口アキ子
例会場	千葉スカイウィンドウズ 東天紅	センシティタワー23階	
	TEL 043-238-5555		
例会日	毎週火曜日 12:30～		
事務局	千葉市中央区新田町12-1	トーシン千葉ビル7階	
	TEL 043-245-3202	FAX 043-245-7522	
	E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp		
	URL : http://www.chibawest-rc.net/		

■ 会長挨拶 / 大森 薫 会長

平成 30 年 6 月 21 日～24 日の 3 泊 4 日で高雄北 RC と釜山鎮 RC と千葉西 RC との 3 国で姉妹クラブ・WCS・書画交流事業を行う為に高雄に訪問します。高雄に訪問しますと、大勢の人達に「熱烈大歓迎！」を受け、「親日」である事もよくわかります。「台湾が何故親日なのか？」その理由を知りたくて調べました。

●後藤新平と新渡戸稲造の台湾での業績に関する国際シンポジウムが1999年に台南市で開かれた。台湾人の手で日本人の戦前の活動を評価する集いが開催されたのはこれが初めてだった。日本は植民地というよりも自分の領土の延長として考えていたから、インフラ建設に膨大な金をつぎ込み、一流の人材である乃木希典・児玉源太郎など日露戦争の英雄達を派遣した。投入資金がすぐ回収できない医療や教育にも力を入れた。日本統治がなかったら、台湾人の生活はもっと悪かったと思う。後藤は民生官として鉄道・港湾などのインフラ（産業基盤）と上下水道などを整備した。世界有数の伝染病の巣窟だった台湾から疫病を駆逐し「台湾近代化の父」と称えられている。新渡戸は後藤に呼ばれて台湾に赴任し、ハワイからサトウキビを輸入して製糖業を興した。技師の八田與一は烏山頭（うさんとう）ダムを建設し台湾南部を穀倉地帯に変えた。戦死した八田を追って妻がダムに身を投げたため、地元住民は夫妻の墓まで建てた。また、病死した明石元次郎総督は遺言通りに台湾に埋葬されたが、蒋介石・経国父子が将来は大陸に帰りたいと言い残していたので、棺に収められたまま地面から離されて安置されている。

●蒋介石時代の教科書は中国大陸に関する記述が大部分だった。李登輝は97年から中学の教科書を全面的に書き換えた。中学の教科書『認識台湾』は日本植民統治時期について、日本語による基礎教育は台湾人が現代知識を吸収する手段となり、台湾の現代化を促進した。台湾総督府は公衆衛生・交通・産業・教育などを改善した。総督府が公衆衛生を強化した項目では1930～41年の間の台湾の人口増加率は世界最高だったと注釈をいれた。

●台湾人の教育で素晴らしかったのは「公学校（小学校）」で修身を必修にした。織田信長の草履を懐の中に入れて暖めた「太閤秀吉の出世物語」などを通して「いかにして役に立つ人間になり、立派な国民になることができるか」などを教えていた。台湾人が一番利益を受けたのは教育だった。また、『勤勉で正直で約束を守る』日本の精神は素晴らしい。今でも台湾では『日本精神』を台湾語でリップンチェンシンとよんで、ほめ言葉に使っている。日本統治は台湾人に「公意識」という精神を注入してくれた。『武士道』を書いた新渡戸稲造の講義で、「人間はいかにして生きるべきか」といった問題をあの時代に体得させてくれたことを誇りに思う。

また当時の学校の先生達は使命感があり素晴らしかった。戦争で日本が負けて先生には給料が出なくなった。学校の倉庫に物資は沢山あったので、倉庫の物を売れば生活もできたが、先生達は倉庫の物資には手を付けず、道端で「こも」を被って座っていた。日本人の「潔さ」です。

●このように「元日本人」達（日本を誇りに思っている台湾人）は戦前の日本統治に感謝する一方で、「今の日本は一体どうなったんだ」と心配している。許文龍会長はかつて日本人だった李登輝さんとか私とかは、みな日本人だったことを今でも誇りにしている。あの戦争は追い詰められてやらざるを得なかった。私たちがそういう認識をしているのに、本家の日本が過去に対して自信を喪失している。

李登輝前総統は、日本は実力がある。多元的で深みのある文化、蓄積された広範囲で水準の高い技術、素晴らしい産業、1億2千万人の人材。しかし、日本は自信喪失して好条件を生かせないでいる。冷静に自分を見直すべきだ。アジアも世界もそれを望んでいる。日本は自らの歴史と未来にもっと自信をもって頑張ってもらいたい。


■ 四つのテスト / 水元誠太 会員

「言行はこれに照らしてから」
 真実かどうか
 みんなに公平か
 好意と友情を深めるか
 みんなの為になるかどうか


2018-19年度 R1 会長テーマ


インスピレーションになるう

